

研究課題名	熱中症の発生と気象データの相関関係についての研究
研究責任者(職名)	外科：村田 透（医師）
実施責任者(職名)	同上
研究期間	2019 年 7 月 29 日 ～ 2021 年 6 月 30 日
研究目的と意義	<p>熱中症とは、高熱環境によって高温多湿な環境下において、体内の水分・塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻したりするなどして発症する障害の総称です。熱失神、熱痙攣、熱疲労、熱射病などを含み、重症度によってI度、II度、III度に分類されます。近年、地球温暖化に伴って、日本でも熱中症の発生が増加し、大きな問題となっています。中には重症化し、生命の危険に直面する方もいらっしゃいます。総合内科では、台東区・墨田区等において、熱中症の発生状況と、気象状況との関連について調べるため、この研究を計画しました。より精度の高い熱中症予報が開発できることを狙いとしています。この研究では、永寿総合病院、日本気象協会と協力して研究を進めます。研究目的、研究方法は当病院での倫理委員会で十分に審査され、承認されたものです。</p> <p>患者さんの診療録やバイタルサインを用いて解析を行いますが、個人名、住所などは全て完全に匿名化され、個人を特定することは不可能になっており、患者さんご自身に不利益が及ぶことはありません。ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さま          済生会・向島病院を受診され、熱中症と診断された方 約50名</p> <p>●利用する情報          上記調査対象の方の診療録から、バイタルサイン（血圧、脈拍、呼吸数、体温）収集と、本人またはご家族に発生状況アンケートを行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】          外科：村田 透（医師）      整形外科：井上 清（医師）</p>